

教科	芸術	科目	音楽 I			単位数	2 単位
学科	普通科 工業科	履修 学年	1 学年	コース		必修・選 択	必修
教科書	MOUSA 1 (教育芸術社)						
副教材等	なし						

学習目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、正しい知識に裏付けられた、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。
------	---

指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> ① 発声の基本を学習しながら、歌うことの楽しさを感じる心を育てる。 ② 基本的な楽典を習得し、読譜力を育てる。 ③ 楽器に応じた奏法を身に付け、視奏力の充実とともに個性豊かな表現の育成を目指す。
-------	---

学 習 計 画	学期 (時数)	学習項目	学習内容(学習活動)	評価方法
	1 学期 (20)		独唱曲を歌う (10)	<ul style="list-style-type: none"> ・腹式呼吸による発声で歌う。 ・正確なリズムと音程で歌う。 ・日本語だけでなく、ドイツ語、イタリア語等原語で歌うことで、各特徴を捉える。 ・演奏に関する基礎的な楽語を習得する。
		器楽曲に触れる① (10) — ギター弾き語り挑戦 —	<ul style="list-style-type: none"> ・器楽の基本的な奏法を習得する。特にギターの基本的な奏法を学習し、弾き語り挑戦する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の取り組み ・実技テスト
2 学期 (24)		アンサンブルの響きを味わう — 合唱曲を中心に — (6)	<ul style="list-style-type: none"> ・各パートの特徴や役割を理解する。 ・主体的にパート練習をする。 ・アンサンブルのよさを体感しながら合唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の取り組み ・グループ発表
		器楽曲に触れる② — ヴァイオリンに挑戦 — (7)	<ul style="list-style-type: none"> ・ヴァイオリンの基本的な奏法を学び、簡単な楽曲を弾く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の取り組み ・実技テスト
		西洋音楽の流れについて学ぶ (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントと DVD の鑑賞を通して、西洋音楽の流れをつかむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントの提出 ・ペーパーテスト
		日本の伝統音楽の流れについて学ぶ (3) 器楽曲に触れる③ — オカリナに挑戦 — (5)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統楽器の正しい奏法を学び、併せて他国の音楽との違いをつかむ。 ・オカリナの基本的な奏法を学ぶ。 ・オカリナ独特の響きを感じ取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の取組 ・実技テスト

	<p>3 学期 (20)</p>	<p>アンサンブルの響きを味わう — ハンドベルを中心に — (1 2)</p> <p>オルゴール制作 (8)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドベルの演奏方法を学ぶ。 ・グループを決め、選曲をする。 ・楽曲全体の流れを感じながら、アンサンブルをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・作曲方法を学ぶ。 ・作曲をする。 ・作曲カードを制作する。 ・オルゴールを演奏し完成した曲を披露する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受業の取り組み ・グループ発表 <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み ・曲の完成度
計 6 4 時間 (5 5 分授業)				
<p>評価規準と 評価方法</p>	<p>知識・技能</p>	<p>思考・判断・表現</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	
	<p>音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽に対する理解を深め、創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身につけようとしている。</p>	<p>音楽を形づくっている要素の働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図を持って演奏しようとしている。</p>	<p>音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p>	
<p>[評価方法]</p> <p>以上の観点を踏まえ、小テストの成績、授業中の態度・発表、毎時間の作品やワークシート等の提出物、学習記録用紙などから総合的に判断し、達成率が 80%以上を A、79～50%を B、50%未満を C と評価する。</p>				